

## 平成 22 年度 番組審議会

- (1) 番組審議会議事録
- (2) 放送番組の編集の基準

### (1) 番組審議会議事録

1. 日 時	平成 23 年 2 月 10 日 (木) 午後 2 時～午後 3 時 50 分																														
2. 場 所	株式会社日本ケーブルテレビジョン (渋谷区神宮前 1-3-10 コロンブスビル 7F) 会議室																														
3. 出 席	<table><tr><td>審議委員</td><td>小池生夫 (委員長)</td></tr><tr><td></td><td>石川次郎 (委員)</td></tr><tr><td></td><td>大宅映子 (委員)</td></tr><tr><td></td><td>小西克哉 (委員)</td></tr><tr><td></td><td>黒鉄ひろし (委員)</td></tr><tr><td></td><td>雪野智世 (委員)</td></tr><tr><td colspan="2">-----</td></tr><tr><td>株式会社</td><td>河西明 (代表取締役社長)</td></tr><tr><td>日本ケーブルテレビジョン</td><td>川田敏廣 (常務取締役・番組審議会担当)</td></tr><tr><td></td><td>鮫島慎司 (取締役・放送事業局担当)</td></tr><tr><td></td><td>山本陽一 (放送事業局長)</td></tr><tr><td></td><td>鈴木隆泰 (放送事業局次長兼 CATV・DTH 営業部長)</td></tr><tr><td></td><td>宮武達治 (業務部長)</td></tr><tr><td></td><td>細川正一郎 (書記)</td></tr><tr><td></td><td>長谷川泰子 (書記)</td></tr></table>	審議委員	小池生夫 (委員長)		石川次郎 (委員)		大宅映子 (委員)		小西克哉 (委員)		黒鉄ひろし (委員)		雪野智世 (委員)	-----		株式会社	河西明 (代表取締役社長)	日本ケーブルテレビジョン	川田敏廣 (常務取締役・番組審議会担当)		鮫島慎司 (取締役・放送事業局担当)		山本陽一 (放送事業局長)		鈴木隆泰 (放送事業局次長兼 CATV・DTH 営業部長)		宮武達治 (業務部長)		細川正一郎 (書記)		長谷川泰子 (書記)
審議委員	小池生夫 (委員長)																														
	石川次郎 (委員)																														
	大宅映子 (委員)																														
	小西克哉 (委員)																														
	黒鉄ひろし (委員)																														
	雪野智世 (委員)																														
-----																															
株式会社	河西明 (代表取締役社長)																														
日本ケーブルテレビジョン	川田敏廣 (常務取締役・番組審議会担当)																														
	鮫島慎司 (取締役・放送事業局担当)																														
	山本陽一 (放送事業局長)																														
	鈴木隆泰 (放送事業局次長兼 CATV・DTH 営業部長)																														
	宮武達治 (業務部長)																														
	細川正一郎 (書記)																														
	長谷川泰子 (書記)																														
4. 議 題	「ユニークリー・ジャパン」で特集した下記の番組について [1] 「トーク・アジア」本田圭佑選手インタビュー [2] 「リビング・ゴルフ」石川遼選手インタビュー [3] 「医学の奇跡」(Another Day Cheating Death)																														
4. 審議の概要	<p>[1] 「トーク・アジア」について 本田選手が日本人に答える時よりも素直に答えている。日本人には話さなかった貴重な話や意外なことが聞けた。 今の日本の若者にないものを持っていることや本人の人物について、インタビューでよく分かった。 日本で撮ったら本田選手自身が規制するであろうようなことも、外国で撮ったから…という部分もあるだろう。 外国 (モスクワ) で外国のメディア (CNN) にインタビューされることは本人の気持ちも答えもかわるのだろう。</p> <p>[2] 「リビング・ゴルフ」について 遼君の話は意外なことはあまりなかった。 日本のゴルフ事情についてのレポートは不十分。 日本での取り上げ方とちょっと違うと思った。例えば練習施設についてあれほど長くやった日本のテレビはない。</p>																														

	<p>外国選手からどう見られているか、など立体的にして欲しかった。 欲張りすぎた感じになった反面、我々（日本人）の知らない情報もあった。</p>
	<p>[3] 「医学の奇跡」(Another Day Cheating Death) について テーマもさることながら、取材も編集も良いが、内容が多すぎて構成に不満が残った。 編集能力の高さは「真実感がとぶ」くらい巧かった。 ドキュメンタリーで彼我の差を感じさせられた。編集も凄くテンポも良いが、米国人向けの編集に日本人は抵抗感があるかも。 「報道専門局のドキュメンタリー」を見たと感じた。 テンポが良く、面白く知らない世界に驚きがあった。</p>

このような助言、意見交換が行われました。

JCTV では、こうしたご意見を参考に今後さらに視聴者ニーズに答え、番組内容を向上させるよう努力してまいります。

## (2) 放送番組の編集の基準

1. 当社は放送の使命を認識し、公共福祉、文化の向上、産業と経済の繁栄に役立ち、平和な社会の実現に寄与することを使命とする。  
われわれは、この自覚に基づき、民主主義の精神にしたがい基本的人権と世論を尊び、言論および表現の自由を守り、法と秩序を尊重し社会の信頼にこたえる。  
番組の種類は CNN の情報を中心として国際ニュース、ニュース解説、インタビュー、討論会、英語教育等の番組を編成する。
2. このために、当社は放送番組を次の基準によって編集する。
  - (1) 人権・人格・名誉
    - a. 人命を軽視するような取扱はしない。
    - b. 個人や団体の名誉を傷つけたり、信用を損なうような放送はしない。
  - (2) 宗教  
宗教に関する放送は、信仰の自由を尊重し公正に取り扱う。
  - (3) 政治  
政治上の諸問題は、できるだけ多くの視点から論点を明らかにし、公正に取り扱う。
  - (4) 家庭と社会
    - a. 家庭生活を尊重し、これを破壊するような思想を肯定的に取り扱わない。
    - b. 暴力行為は、どのような場合にも是認しない。
  - (5) 犯罪  
犯罪については、法律を尊重し、犯人を魅力的に表現したり、犯罪行為を是認するような取り扱いはしない。
  - (6) 性表現  
性に関する事柄は、視聴者に困惑・嫌悪の感じを抱かせないように注意する。
  - (7) 表現
    - a. 下品な言葉使いはできるだけ避け、また、卑狼な言葉や動作による表現はしない。
    - b. 人心に恐怖や不安または不快の念を起こさせるような表現はしない。
  - (8) 広告  
広告はわかりやすく適正な表現を用い、視聴者に錯覚をおこさせるような表現をしない。

以上